

研究課題名	定期的な迅速抗原検査導入による、新型コロナウイルス感染症パンデミック第8波および第9波における医療従事者の感染状況の単一施設における分析
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 感染管理室・小児科 氏名 長澤 正之
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後 ～ 2024年5月
研究の意義・目的	オミクロン株とその派生株の出現以来、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の市中感染が爆発的に増加する一方、臨床症状は軽くなりました。それに従って、社会における行動緩和が進みました。市中感染が一般化するにつれ、医療従事者が市中で感染するケースが増え、職員の感染状況の把握・管理が極めて重要となるとともに、非常に難しい状況になりました。オミクロン派生株による医療従事者のCOVID-19の感染症の実態を把握するとともに、院内感染対策における定期抗原定性検査導入の効果・有用性について分析・検討することにより、オミクロン派生株の感染実態の把握をし、今後の院内感染対策に役立てることを目的とします。
研究の方法 (対象期間含む)	<p>研究対象：当院の職員（医師・看護師・事務職員・臨床検査技師）</p> <p>研究対象期間：新型コロナウイルスの第8波（2022/9/20から2023/5/2）と第9波（2023/5/8から2023/10/24）</p> <p>研究方法：上記研究期間に院内のdesknet'内のシステムを通じて提出された職員の「感染症報告書」ないの情報を解析します。また同期間において施行された職員の迅速抗原テストキットを用いた定期抗原検査の結果を「感染症報告書」を比較し、合わせて解析します。</p>
<p>①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む)</p> <p>②利用し、又は提供する試料・情報の項目</p> <p>③利用する者の範囲</p> <p>④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>①後ろ向き調査観察研究であり、職員からの「感染症報告書」より情報を収集し統計学的解析を行います。</p> <p>②調査項目：「感染症報告書」の以下の情報：年齢・性別・所属部署・診断確定日・診断法・発症日・症状・発症2日前までの行動歴・家族内感染の有無・ワクチン接種歴・過去のCOVID-19罹患歴・欠勤開始日・職場復帰日、および「定期抗原検査」からは検査結果（陽性・陰性）および検査が行われた週</p> <p>③感染管理室：長澤正之、加藤智之、櫻井美枝</p> <p>④感染管理室・小児科 長澤 正之</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 感染管理室・小児科 氏名 長澤 正之</p> <p>TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525</p>